

2026 年度 文化・芸術活動に優れた者の特別選抜入学試験  
2026 年度 スポーツ能力に優れた者の特別選抜入学試験  
「経済学部」

---

1. 実施状況

志願者数、合格者数等

【文芸】

| 学科・専攻     | 志願者数 | 1次合格者数 | 最終合格者数 |
|-----------|------|--------|--------|
| 経済学科・経済専攻 | 2    | 2      | 2      |

【スポーツ】

| 学科・専攻     | 志願者数 | 1次合格者数 | 最終合格者数 |
|-----------|------|--------|--------|
| 経済学科・経済専攻 | 33   | 30     | 30     |

2. 試験内容

第2次選考では、面接を約20分行います。そのうち最後の数分を口頭試問に充てます。口頭試問は高等学校で用いる『政治・経済』の教科書の内容に基づいて出題しました。今年度は単元「金融のしくみ」\*1に関する教科書の内容に記載されている用語についての理解を確認しました。

\*1：単元の代表例「金融のしくみ」、「金融のしくみと働き」、「金融のしくみと機能」

3. 出題意図

学部のアドミッションポリシーに沿い、経済・社会の問題を分析するために必要な基礎学力が定着しているかどうかを確認することを意図しました。

4. 評価のポイント

2つの問題を出題しました。ノーヒントで答えられたかどうか、2問とも正解できたかというところを中心に評価しました。

5. 解答状況

事前の指示（第1次選考合格者向けに通知される口頭試問概要の内容）を踏まえ、口頭試問の準備をきちんと行っていたように思います。

6. 次年度以降の受験生へのアドバイス

口頭試問では適切な用語、単語を答えてもらいますが、意味や理論を理解していないと、答えることは難しい尋ね方をします。教科書に書かれた用語／単語を単に覚えるだけでなく、単元全体を学習し、関連するニュース記事などにも接し、経済や社会について考えてみると良いでしょう。なお、口頭試問では、用語の「読み方」を間違えると不正解となります。教科書に読み仮名が記載されていない場合もありますので、各自で確認しておきましょう。

勉学に対して真摯に取り組まなければ、学業と課外活動を両立できません。日々の勉強に一生懸命取り組んでください。

## 7. 進路指導上の留意点（主に高校教員向けの入試指導上のポイント）

口頭試問では、適切な用語、単語を答えてもらいますが、重要語句（太字などで強調されている単語）を覚えるだけでは不十分です。意味や理論を理解していないと答えられないような聞き方をします。これらの語句と関連する単元全体を学習し、内容を理解するように指導してください。

口頭試問の場合には、単語の読み方を正しく読めなければ不正解になります。教科書を勉強する際、常識的な単語であっても読み間違えないように、一度教科書の指定範囲全体を音読させるなどの対策が望ましいと思われます。加えて、事前の指示も踏まえ、きちんと準備をさせることが重要です。

入学後の勉学と課外活動を両立させるためには、日ごろより勉学に対して真摯に取り組むことが不可欠です。

以上